

# 風物詩

## 「だんじりがまちを練り歩く」



大東市では、毎年10月に、市内各所で「だんじり祭り」が盛大に開かれています。太鼓や鐘の音に合わせて、「ヨーイサ！」と威勢の良い掛け声が至る所から聞こえてきます。本来、五穀豊穡を願った祭事ですが、今や地域コミュニティに欠かせない伝統行事となっています。

現在、市内には34台のだんじりがあり、各地域で大切に保管されています。災害や戦争、また戦後の急速な都市化などで一時期中断していた地域もありましたが、近年に次々と復活しました。今では、ねじり鉢巻きに法被（はっぴ）という装束をまとった若い人達が積極的に「だんじり祭り」に関わり、曳行には女性も参加するようになってきました。勇壮な伝統を受け継ぎながらも、地域みんなの行事として、新しい時代に引き継がれているのです。

祭り当日になると、各地域自慢のだんじりがまち



を練り歩きます。泉州地域のだんじりに見られるような激しさはありませんが、雄大で立派な彫り物が施されただんじりが威風堂々と曳かれていく姿は見応え十分です。

### だんじりばやしの継承

各地域の地車保存会では、だんじりばやしを子ども達に継承しています。平成15年からは「だんじりばやしフェスティバル」が毎年、大東市立総合文化センターで開催されています。ホールの入り口前広場には、各地域の法被のパネルが展示され、ステージでは、日頃の練習成果を披露するべく、子ども達が太鼓を演奏するたびに、客席から大きな拍手が沸き起こります。（今年は9月17日（日）に開催予定。）

子ども達が一生懸命にたたく太鼓の音色は力強く、地域の人々に大きな感動と勇気を与えてくれます。本市は今年市制50周年を迎えましたが、だんじりばやし地域に鳴り響く風景を、我がまち自慢の風物詩として、これからも大切にしていきたいと考えています。



### ● お問い合わせ先 ●

大東市政策推進部企画調整課

TEL : 072-870-0404